

アンケート調査に寄せられたその他事象

1. 思い違い等（4件）

件名	事象の概要
溶接検査手続き不履行による溶接補修実施	設備の溶接補修工事において、回答者（グループ会社社員）から適正な法手続きが行われていないとの回答があったが、工事は適正な手続きの下、行われており問題ないことを確認した。
地熱井掘削泥水の地下還元処理	地熱井掘削泥水を地下に還元する処理を請け負った回答者（グループ会社社員）から処理方法が廃掃法に違反しているのではないかと回答があったが、掘削泥水については、適正な産廃処理が行われていることを確認した。
陸域施設における油膜処理時の家庭用洗剤使用	雨水排水用油膜検知器の日常点検において、回答者（グループ会社社員）が実動作の確認をする際に検知器表面に付着した微量の油分による油膜処理に家庭用洗剤を使用していたとの回答があったが、油処理剤としての家庭用洗剤の使用は海域において禁止されたものであり、発電所構内（陸域）での使用は法令に抵触せず問題ないことを確認した。
設備取替の改良・修繕の判断基準	回答者（グループ会社社員）から設備の新設工事を修繕工事として業務処理しているとの回答があったが、本件については事象設備の特定ができないため、問題の有無は判定出来なかった。なお、工事に係る税法上の扱いについては、税務調査等において確認され、適正に処理されている。

2. 平成19年以前の事象（アンケート対象外）

○下記2件が確認されましたが、いずれも現在は適正な対応が行われています。

件名	事象の概要
所内ボイラ容量変更時負荷試験データの不適切な扱い 〔S59年の事象で H23年に判明〕	所内ボイラ容量変更時に実施した負荷試験データに、実測値（14.5t/h）より高い定格値データ（15.0t/h）を使用した。 （工事を伴わないため、電気事業法に定められた手続きには該当しない）
環境分析計の初期設定不備 〔H10年の事象で NOxはH22年、 SOxはH23年に判明〕	NOx濃度を計算している排ガス分析計内部の酸素濃度設定が担当者の知識不足により適正な値に設定されていなかった。 （協定値違反はなし） SOx排出量についても追加調査結果、適正な計算機処理が行われていなかったことを確認した。